

CASBEE[®]広島

(2010年ver.1)

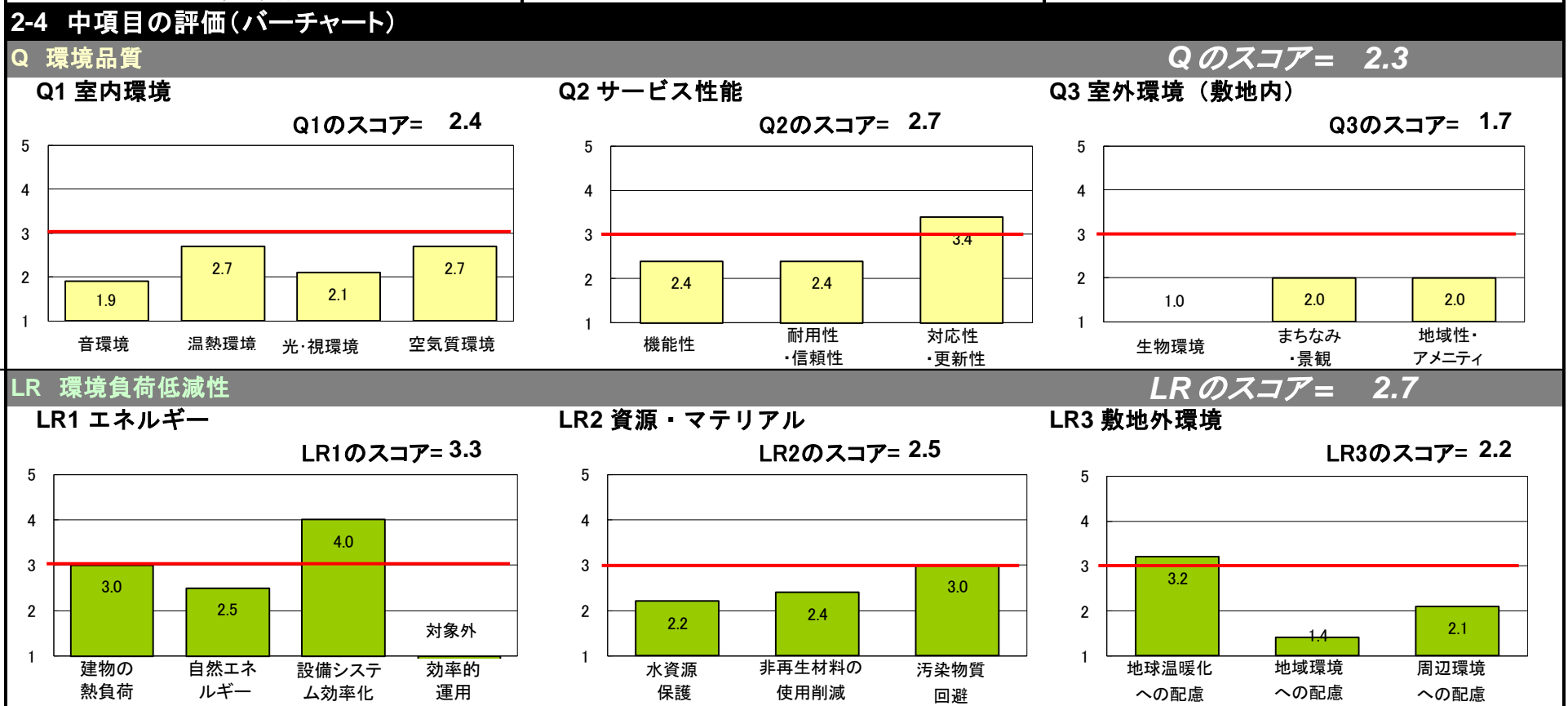
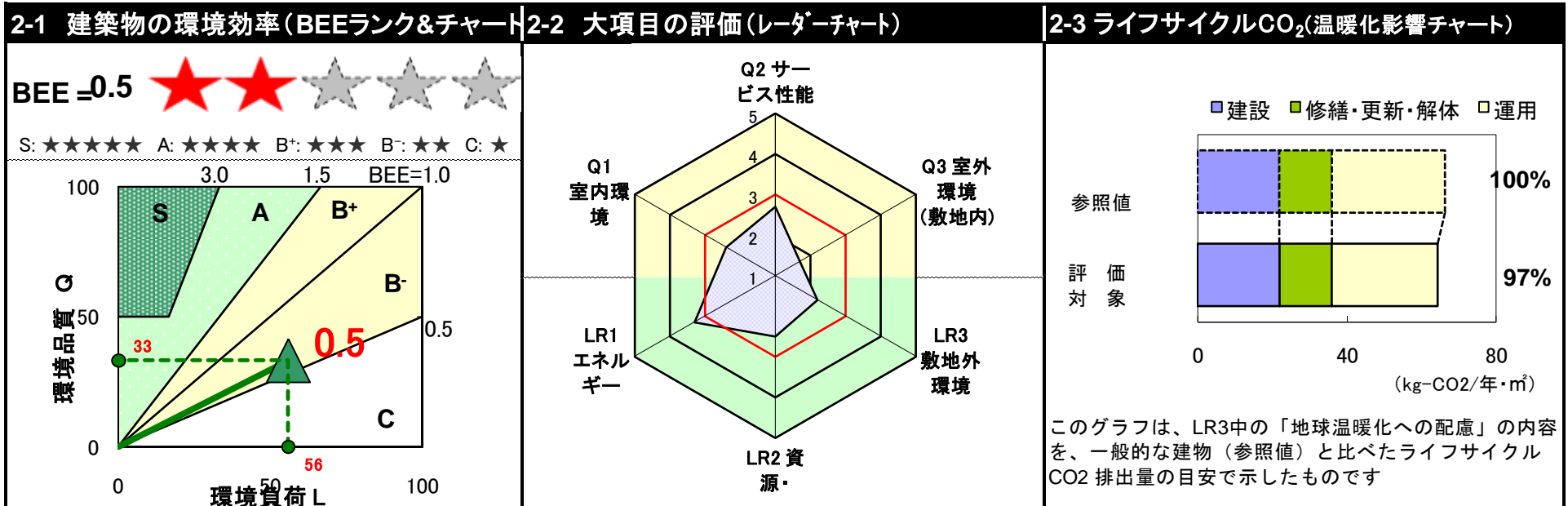
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東蟹屋ビル	階数	地上11F
建設地	広島市東区東蟹屋町85番46	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	39人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2011年11月5日
敷地面積	625 m ²	作成者	中井 進
建築面積	236 m ²	確認日	2011年11月6日
延床面積	2,060 m ²	確認者	中井 進

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.7	スコア = 1.1	スコア = 2.6
設計の計画上特段に配慮した事項 窓部は複層ガラス、カーテンレールを設置 // LED照明を積極的に採用した // 可能な限りCO ₂ の排出を削減	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される